

ユニセフ兵庫ニュース
Wish

世界の子どもたちのために

vol. **65**
2021年9月号



「子どものけんり なんてやねん! すごろく」をしている子どもたち(夏休みユニセフ子ども教室)。

CONTENTS

- | | | | | |
|-----|----------------|---------------|-----|----------------------|
| 2-3 | ユニースOGトークセッション | さまざまな出会いに導かれて | 6-7 | 活動ファイル
2021年4月～8月 |
| 4-5 | EVENT REPORT | 夏休みユニセフ子ども教室 | 8 | お知らせ |

ユニーズ OG トークセッション

さまざまな 出会いに導かれて

兵庫県ユニセフ協会には学生によるボランティアグループ「ユニーズ」があり、ユニセフの活動を通して学び合い語り合っ、それぞれの道に旅立っていただくさんの若者たちがいます。

「ここが帰ってくる場所になっていて、いつも励まし後押ししてもらってきた」と語ってくれた3人のOGからこの日の参加者は元気と勇気をもらいました。

Event Data イベントデータ

日時 2021年6月26日(土)
会場 コープこうべ生活文化センター(神戸市東灘区)
参加者 20人

兵庫県ユニセフ協会ボランティアに参加したきっかけは？

本田 高校生の時、現代社会の授業で難民問題を知り、将来は国際協力の仕事につきたいと思っていました。大学に入って内の国際交流サークルに入ったのですが違和感を感じ、大学から離れてもっと広く社会の人たちと関わる中でボランティア活動をしたと思い、インターネット検索してここを見つけました。

高須 すでにボランティアに参加していた人のお母さんが中学の時の先生で、こういう活動に興味があると話したらここを紹介してもらい、高校生の時から参加しました。

福井 大学に入ったらボランティアをしたいと高校生の時から思っていたのですが、学内には思うようなサークルがなく、ネット検索して出会いました。最初に参加したのは大津司郎さん(アフリカジャーナリスト)のセミナーで、それがアフリカに関心を持つきっかけになりました。

印象に残っているユニーズでの活動やそこから得たものは？

本田 イケアのイベントでユニセフ世界手洗いダンスをしたり、「ユニセフのつどい」での他団体の人との交流で視野が広がった

り、アフリカスタディツアーやアジアプレス訪問などで専門家から話を聞き現場を知るなど貴重な機会をたくさんいただきました。多様な人たちとの関わりがあり、ユニセフの活動を伝えるという一つの目標を目指して知恵を出し合う学びの場で勉強させてもらったと思います。

高須 くーまん(兵庫県ユニセフ協会)のゆるキャラの着ぐるみの中に入った時はとても暑くて大変だったことをすごく覚えていますが、ここに来るための交通費のためにアルバイトしたことは自立の第一歩になりました。イベントのためイケアのバックヤードに入るという貴重な経験もさせてもらいました。高校生活に息苦しさを感じていたので、ここへ来ていろいろな価値観に出会って外の世界が広がったし、自分と似た興味を持つ人やいろいろな活動をされている人と出会えました。高校生だったので皆さんにかわいがっていただき応援してもらいました。

福井 神戸まつりへの参加、ルワンダでのホームステイ、最初の福島子ども保養プロジェクト、アフリカスタディツアー、アジアプレス訪問などが印象に残っています。多くの大人の皆さんに支えられてユニーズの活動ができ、たくさんのお子ともたちとも関わりました。いろいろな学生や世代がいて時間を共有していることや講師の方々との距離が近いこともここでの強みだと思います。そうい

う信頼関係の築き方は社会人になっても生きている気がしています。

ボランティアって何だろうと大学生の時ずっと思っていたのですが、自分が興味があるからとか自分に必要と思うから、そして人のためにというより知らなければいけないと思うからやる、ということをここで勉強させてもらいました。また自分の興味を突き詰め継続していくことや現地に行くことが大事だと知りました。

今の活動とユニーズでの活動とのつながりは？

本田 難民に関わる仕事をすることになった直接のきっかけは青年海外協力隊での難民女性支援の経験からでしたが、ユニセフは子どもの権利条約を実施する機関、私が仕事をしてきたIOMは移民・難民に関する条約や国際規約を実施する機関ということで国連に関係しているという共通点があります。IOMの国連ボランティアとして勤務していたのはネパールの国連職員向けクリニックでした。実は兵庫県ユニセフ協会のアフリカスタディツアーでケニアに行った時、体調を崩してケニアの国連の病院でお世話になったことがありまして、ネパールでの仕事はその時の恩返しだと思っていました。

青年海外協力隊で行ったジブチ

ユニーズはunicef energetic studentsの略で、兵庫県ユニセフ協会に集う学生たちのグループです。その名の通り、何かしたいという若い情熱を持って、世界の子どもたちのことを共に考え新しい発想で行動していく仲間がいます。興味のある学生の皆さん、ぜひ一度ホームページ検索や事務所への連絡をしてみてください。一緒に活動しましょう！(連絡先は8ページにあります。)



ユニーズへ
ようこそ!

高須 知穂^{ちほ}さん(右)

2008年からボランティアに参加(高校1年生)。2013年 Follow the Women in UAE に参加した後、リトアニアに留学。大学卒業後はアメリカの大学で日本語講師、島根県で公営塾講師・県立高校英語科特別非常勤講師として勤務。2021年8月からエストニアの大学院へ留学。

本田 悠里^{ゆり}さん(中)

2008年からボランティアに参加(大学1年生)。2013年~15年青年海外協力隊員としてジブチへ。建設コンサルタント会社員を経てオランダの大学院へ留学。2019年から2021年4月まで国際移住機関(IOM) フィリピンでインターンおよびコンサルタント、IOM ネパールで国連ボランティアとして勤務。8月から JICA 本部勤務。

福井 沙織^{さおり}さん(左)

2010年からボランティアに参加(大学1年生)。2011年ルワンダでのホームステイが初めての海外旅行。大学卒業後サラヤ株式会社に入社。2018年~20年青年海外協力隊員としてベナンへ。帰国後サラヤへ復職し、現在も兵庫県ユニセフ協会ボランティアとして活動中。



では一人で母親の難民申請手続きをするエチオピアの子どもにも出会い、大学院の修士論文のためスイスで調査していた時には徴兵制から逃れてきたエリトリアの若い難民に出会いました。身の保障がないことで、人身売買の危険にさらされたり教育や就労の機会のない彼らのような「取り残される子どもたち」の存在を現場で知りました。これはユニセフとも大きく関わりがあると思います。

高須 アメリカ・ミシシッピ州の歴史的黒人大学で日本語講師をしていた時、アメリカの闇の深さを知り、生まれた環境で人生が左右されることを実感しました。帰国して日本で当たり前と思っていた自分の環境も当たり前ではなかったことに気づき、日本にも取り残されている子どもがいることから教育現場に立ちたいと思いました。

またUAEで参加したプログラムで内戦中のシリア人女性とルームメイトになり、友達の抱える痛みを目の当たりにしたこと、難民という問題を自分事として感じられるようになり、また平和学習などのチャンスがなかった島根の高校生にも考えてほしくて、オンラインでシリアの人と話したり日本の難民制度への疑問を投げかける授業をしたこともありました。

福井 大学2年の時、永遠瑠マリーリスさん(ルワンダの教育

を考える会代表)のところにホームステイしてからアフリカのイメージが変わり、アフリカの人たちと一緒に何かできたらと思うようになりました。

今の会社で働くきっかけは、ユニセフの事務所にあったサラヤの『100万人の手洗いプロジェクト』の手洗い石けんのボトルを見ていた時「ここに就職したら」と先輩ボランティアに言われたことです。そしてこの会社で働くことであらためて保健分野に興味を持ち、青年海外協力隊で何ができるのではと思っていくことにつながりました。協力隊の活動の中でも「¹ランピーナツツや²ほえみききん」などユニセフでやっていたことが体に染みついていと実感しました。

これからの抱負は？

本田 IOMネパールではCOVID-19の支援プログラムを担当していました。インドやマレーシアなどに出稼ぎに行っていた脆弱な立場にある海外労働者の多くがコロナのために帰国できなくなり、不法滞在となって拘束されていました。IOMではその人たちが現地のネパール大使館と協力して帰国させてシェルターに保護し、状況の聞き取りと社会復帰支援を行いました。拘束中の人権侵害は肉体的にも精神的にも傷を残します。今後のケアが大事になってくると思う

のでそのバックアップに関わっていきたくて思っていたところ、日本の入管施設なども同様かそれ以下の人権侵害状況にあることが明らかになってきました。今は外に出て初めて知った日本の問題にも目を向けて考えていきたいと思っています。

高須 生まれた場所や環境に左右されない社会を実現したいというのが人生の目標です。EQUALITY(平等)とEQUITY(公平)の言葉の違いのように、同じものを全員に与えるのではなく、必要なる人に必要な人が本当だと思えます。日本はやり直しのきかない社会だと感じていて、これからの勉強を世界のどこかで活かしたいと思っています。

福井 協力隊から帰ってきてからは、コロナ禍で思うように活動できないこともあって、生きづらさもややもやした感じがあります。協力隊で行ったベナンの人の方が生きる上で大切な何かを持っていて、自分も人間らしい生活をしていたい。日本は思っている以上に問題だらけで欠落しているものがあると日本に帰ってきてからより感じます。間違いなく自分の中に生きているベナンでの何よりの経験を活かし、次にステップアップできるように今は模索中です。

*1 いっしょでも食べられる栄養治療食品。

*2 保健・保護・栄養・水と衛生・教育・緊急というユニセフの活動の頭文字から兵庫県ユニセフ協会で作った合言葉。



(右) 外貨がどうして募金になるのかなどの話を聞きました。

(中) インターンの大学生によるアイスブレイク。

(左) 「また参加したい人？」
「はい！」

いろいろな国の外国コインにみんな興味津々。さあ同じコインを集めてみよう。

EVENT REPORT 夏休みユニセフ子ども教室

外国コインの仕分け & なんでやねん！すごろく

兵庫県ユニセフ協会は、だれもが楽しく参加できる夏休みユニセフ子ども教室を開催。インターンの学生が進行役となって、外国コインを通貨別に仕分けする体験と「子どものけんり なんでやねん！すごろく」で遊びながら子どもの権利について学ぶ時間を持ちました。

参加者からは、コインの仕分けは難しかったけれど楽しかった、子どもの権利条約は知らなかった、またやってみいたいなどの感想が聞かれました。

Event Data イベントデータ

日時 2021年8月7日(土)
会場 コープこうべ生活文化センター
参加者 小学生9人、高校生以上9人



（外国コインは現在流通している通貨のみを受け付けています。）

ユニセフ外国コイン募金は、全国から届いた外国コインは、日本ユニセフ協会では通貨別に袋に詰められ、税関でチェックを受け、その通貨が使われている国に空輸され、そこで換金され、ニューヨークのユニセフ本部に送金されます。2020年度は約5530万円相当の募金になりました。

ユニセフ外国コイン募金

（外国コインは現在流通している通貨のみを受け付けています。）

ユニセフ外国コイン募金は、全国から届いた外国コインは、日本ユニセフ協会では通貨別に袋に詰められ、税関でチェックを受け、その通貨が使われている国に空輸され、そこで換金され、ニューヨークのユニセフ本部に送金されます。2020年度は約5530万円相当の募金になりました。

ユニセフ外国コイン募金は、全国から届いた外国コインは、日本ユニセフ協会では通貨別に袋に詰められ、税関でチェックを受け、その通貨が使われている国に空輸され、そこで換金され、ニューヨークのユニセフ本部に送金されます。2020年度は約5530万円相当の募金になりました。

ユニセフ外国コイン募金は、全国から届いた外国コインは、日本ユニセフ協会では通貨別に袋に詰められ、税関でチェックを受け、その通貨が使われている国に空輸され、そこで換金され、ニューヨークのユニセフ本部に送金されます。2020年度は約5530万円相当の募金になりました。

ユニセフ外国コイン募金は、全国から届いた外国コインは、日本ユニセフ協会では通貨別に袋に詰められ、税関でチェックを受け、その通貨が使われている国に空輸され、そこで換金され、ニューヨークのユニセフ本部に送金されます。2020年度は約5530万円相当の募金になりました。

海外旅行や出張で使い残した外国コイン。いつの間にか引き出しの奥で眠ったままになっていませんか。このような外国コインを子どもたちのために役立てられるのが「ユニセフ外国コイン募金」です。

子どものけんり

なんでやねん!すごろく って?

「子どものけんり なんでやねん!すごろく」は、子どもの権利条約関西ネットワークが制作したもので、もっと子どもの声を聴きたい、自分に権利があることを知ってほしいという思いが込められています。

ルールは参加者の年齢や所要時間に臨機応変に設定できます。低学年の子どもたちは易しいルールで遊び、大人は子どもの権利についてしっかり学びます。

★に止まったら「子どもの権利条約カード」を1枚読みます。「なんでやねん!」のマスに止まった人が「なんでやねん!カード」を読み終えたら、みんなで「なんでやねん!」と突っ込みます。

※すごろくのお問い合わせは「子どもの権利条約関西ネットワーク」HPまで。



▲なんでやねん!カード(左)と子どもの権利条約カードと4つの権利シート(右)



この子どもの権利条約カードに書かれているのは、権利シートの4つの権利のどれに近い? ▲
声に出したらすっきりした!楽しいね! ▶

試験などだけで
点数を
つけなくて!

今しようと
思ってたのに、
なんで勉強しなさい
って言うの?

なんでたべもの
のすききらいをし
たらだめなの?

そんなに
おこらんといて!

なんでやねん!



1989年に国連において採択され、1994年に日本が批准した「子どもの権利条約」には、世界中の子どもたちが等しく持っている4つの権利(生きる権利、育つ権利、守られる権利、参加する権利)が書かれています。ユニセフは世界中の子どもたちにもこの権利が守られるように活動を続けています。

子どもの権利

このすごろくを通して、子どもは自分の権利を実感し、意見や感覚を自由に表しているんだと思えるようになります。また大人も一緒に参加することで、子どもの意見・思い・感覚を否定せず、それをよく聴いて共感し、大切にすることが大事だと気づかされます。

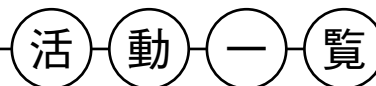
「キーワードは「なんでやねん!」」
毎日の暮らしの中にある「なんでやねん!」「これってどうなの?」「と思うことを互いに出し合い、共感し合ううちに、「なんでやねん!」があふれ出してきます。すると「しかたない」というあきらめや「当たり前」と思っていたことが「しかたなくない!」「当たり前じゃなかった!」という発見につながります。それが次の一歩を踏み出すエネルギーを生み出していきます。



Activities File 活動ファイル

兵庫県ユニセフ協会の活動履歴

2021年4月～8月



Activities List

学習会一覽

★来所

月日	訪問先	対象	人数
5月26日	神戸市立鷹匠中学校	2年生	294
5月28日	神戸市立桜が丘中学校	3年生	93
6月21日	神戸市校園長人権教育研修会 講師 桑山紀彦さん	教頭	200
7月 5日	白川台コープ委員会	大人	9
7月 6日	たつの市立新宮中学校	1年生	100
7月 9日	三木緑が丘コープ委員会	大人	12
7月15日	神戸市校園長人権教育研修会 講師 桑山紀彦さん	校長	200
7月16日	兵庫県立芦屋高等学校	3年生	2 ★
7月19日	中央大学	3年生	2 ★

地域活動一覽

月日	イベント名
5月29日	早川千晶さんオンラインお話し会「今、いのち つないでいこう」
6月1日～ 7月10日	ユニセフパネル展「コロナと闘う世界の子どもたち」
6月 5日	ユニセフセミナー「私たちの街を考える」
7月10日	2021国際理解講座①「取材映像から知る紛争地の子 どもたち～アフガニスタン、イラク、シリア、日本～」
8月 7日	夏休みユニセフ子ども教室 「外国コインの仕分け&なんでやねん!すごろく」
8月 7日	平和学習会 平和をつくるをカタチに① 「ヤマトンチュとして沖縄に向き合う」
8月29日	2021国際理解講座②「世界を変えるという仕事ー現場 から学ぶ、教育支援の可能性」

※インターン生受入

7/31～8/29のうち5日間 大手前短期大学1回生1人、
大手前大学3回生2人
8/7、20 同志社国際高等学校3年生2人

募金一覽

2021年3月～6月

学校・団体名
コープこうべユニオン、青葉園エコポラ活動、BL出版(株)、兵庫県立千種高等学校、生活協同組合コープこうべ、伊藤ハム(株)、神戸市立鷹取中学校、コープこうべ第6地区、神戸須磨ライオンズクラブ、サポートプラス山内大和
外貨募金:西宮ホワイトライオンズ、神戸須磨ライオンズクラブ
ご協力ありがとうございました。(兵庫県ユニセフ協会関係分 敬称略、順不同)

1

ユニセフパネル展 コロナと闘う世界の子どもたち

期間 6月1日(火)～7月10日(土)
会場 コープこうべ生活文化センター1階展示室
協力 大阪ユニセフ協会

新型コロナウイルスのパンデミックから1年。貧困の中で飢え、不安を抱えながら孤立している子どもの数が増えています。また学校閉鎖は学習機会の不平等や、給食が提供されないことによる栄養不良をもたらしています。

ユニセフは教育・保健・栄養・保護など子どもに不可欠な支援をしています。またこれまで培ってきた予防接種のノウハウを活かして、COVAX^{コバックス}の一員としてワクチンの調達・供給・輸送などに大きな役割を果たしています。

パネル展では、ユニセフの支援を受けて、食べ、学び、笑顔で遊ぶ子どもたちを紹介しました。

* COVAX 新型コロナウイルスワクチンを複数国で共同購入し、公平に分配するための国際的な枠組み。190カ国が参加。



木陰で定められたソーシャルディスタンスを守ってインターネット学習をしている生徒たち(ジャマイカ)

©UNICEF/UN0352054/Makyn

2

早川千晶さんオンラインお話し会 今、いのち つないでいこう

期間 5月29日(土)
講師 早川千晶さん(マゴソスクール主宰)
参加者 74人

早川さんは世界放浪の旅の後ケニアに定住し、ナイロビ近郊のキベラスラムで子どもたちの駆け込み寺マゴソスクールを運営しています。



初めての人にもアフリカを知ってほしいと、旅に出た理由が多様性に満ちたアフリカの魅力、キベラスラムに住む人々やマゴソスクールのことなどをわかりやすく話されました。

コロナ禍はキベラの貧困生活に追い打ちをかけています。住民は助け合いながら必死に生き、ロックダウンの中でもマゴソスクールでは給食配布を続け、皆の空腹を少しでも満たし命をつなげようと頑張っています。

早川さんの想いはこの世界をみんなが平和に生きられる場所にすること。「世界で起きていることを理解するには歴史をひもとき公平に知ることが大切。本当のことは自分で知っていかないとわからない」と若い人たちへのアドバイスもありました。

4

ユニセフセミナー
私たちの街を考える

日時 2021年6月5日(土)
会場 西宮市大学交流センター
講師 小川雅由さん(NPO 法人子ども環境活動支援協会 LEAF 専務理事)

参加者 26人

LEAF(リーフ)は、持続可能な地域づくりを目指し、環境学習などの活動を通して次の時代を生きる子どもたちの育成を支援しています。



日本だけでなく、ソロモン諸島においても JICA の草の根技術協力事業として持続可能な地域づくりに向けた活動をしています。ガダルカナル島にある首都ホニアラ市には、人口の急激な都市集中によるごみ問題があります。「New3R(リデュース、リユース、リサイクル+リターン)」の考えのうち、リサイクルが難しい途上国において「リターン」(資源物を先進国に返すことと生ごみを土に返すこと)は特に重要です。これを踏まえてまず官民協働で家庭ごみの分別収集システムを作りました。現在は市民意識向上のための環境学習推進プロジェクトを進行中です。ごみ教育の原点は自然教育。自然と人の暮らしとのつながりを学ぶ教材作りや人材育成を行い、この活動を続けていくための NPO 法人を現地に作ることを目指しています。

今の日本では持続可能な社会で必要とされる人間力が低下しており、深い知識だけでなく俯瞰し面であつなげて考える力が必要であること。循環型社会に向けて制度はできても、人々の意識変革はできていないこと。実際を見て経験するチャンス子どもたちに作ってあげること。小川さんの話から、私たちの暮らしを考え直すヒントを頂いたセミナーでした。

3

ユニセフセミナー
面会報告 ～入管と人権～

日時 2021年4月24日(土)
会場 コープこうべ生活文化センター・オンライン
ゲスト 村瀬史憲さん(名古屋テレビ放送)
林佳昕さん(中国人留学生)

高須優子さん(支援者「フレンズ」)

参加者 50人

第一部では、名古屋テレビ放送が名古屋入国在留管理局(名古屋入管)に収容されている非正規滞在外国人との面会を続ける西山誠子さん(支援者「フレンズ」)の10年間にわたる記録をもとに制作したドキュメンタリー『面会報告～入管と人権～』を上映しました。

第二部は、このドキュメンタリーを受けて、それぞれの方にお話しいただきました。名古屋テレビ放送プロデューサーの村瀬さんは、番組が作られた経緯について話されました。ドキュメンタリーの中で登場した林さんは5歳で来日。大学進学も決まった矢先に一家は中国へ強制送還されることになりました。支援者の活動でようやく再入国し、今は留学生として学んでいます。日常生活や進学にまつわること、これまでに体験した困難などについて、西山さんをはじめ支援者の皆さんへの感謝の言葉と共に話されました。高須さんは、西山さんと共に林さん一家の支援を続けてきました。「同じ人間がちゃんとした人間として扱われなければならない」などの西山さんの言葉を伝えつつ、ご自身の思いも話されました。



村瀬さん、林さん、高須さんとオンラインでつながりました。

5

2021 国際理解講座①
取材映像から知る紛争地の子どもたち
～アフガニスタン、イラク、シリア、日本～

日時 2021年7月10日(土)
会場 コープこうべ生活文化センター・オンライン
講師 玉本英子さん(アジアプレス)
参加者 96人

※(公財)兵庫県国際交流協会民間国際交流事業から助成を受けて行いました。

戦争は、子どもたちから生きる権利や育つ権利など子どもの権利を奪い、心に深い傷を負わせます。中東を中心に20年以上取材を続けてきた玉本さんの、アフガニスタン、イラク、シリアの紛争地で出会った子どもたちの取材映像とお話から、戦争が子どもたちに何をもたらすのかについて考えました。

紛争地域の子どもたちは空爆などで家を失ったりけがを負うだけで

はありません。学校に行けなかったり家族を養うために物乞いや売春をしたり、拉致されて強制結婚をさせられたり、洗脳されて少年兵になり銃を持って戦ったりもします。生まれた時から紛争が続く平和な時を知らない子どももいます。戦争は遠くの国で起きていることではありません。日本でも76年前までは戦争の日々でした。沖縄では14～16歳の少年が召集され、戦車に体当たりして自爆するなど激しい戦闘に駆り出されました。

玉本さんは「このように子どもたちを巻き込み、話し合いでは解決し難い戦争が今も世界各地で続いています。この状況を変えるには教育が大切です。教育によって文字を読むことができます。そして知識を得、自分の考えを持つことができ、それが戦争を止めるきっかけになるのです」と話されました。



アフガン刺しゅうのドレス姿の玉本さん

ユニセフ募金 Donations For Unicef

■ 通常募金

通信欄記載事項	振替口座	手数料
K1-280 兵庫	00190-5-31000	免除

■ 緊急・復興募金

	通信欄記載事項	振替口座
ロヒンギャ難民	ロヒンギャ K1-280 兵庫	00190-5-31000
シリア	シリア K1-280 兵庫	00190-5-31000
アフリカ栄養危機	アフリカ K1-280 兵庫	00190-5-31000
自然災害	自然災害 K1-280 兵庫	00190-5-31000
人道危機	人道危機 K1-280 兵庫	00190-5-31000
新型コロナ ウイルス	コロナ K1-280 兵庫	00190-5-31000

*共通口座名義：公益財団法人 日本ユニセフ協会
*手数料免除
(郵便局の窓口からの振込の場合、振込手数料が免除となる専用の振込用紙が必要です。専用の振込用紙をお送りしますので、事務所へご連絡ください。)



いつでも
どこでも
気軽に募金

<https://www.unicef.or.jp/sp/>

Wish^{vol.65}

ユニセフ兵庫ニュース Wish

2021年9月発行

発行：兵庫県ユニセフ協会

住所：〒658-0081
神戸市東灘区田中町 5-3-18
コープこうべ生活文化センター 4F

電話：078-435-1605 (平日 10:00 ~ 16:00)

FAX：078-451-9830

E-Mail：h-unicef@kobe.coop.or.jp

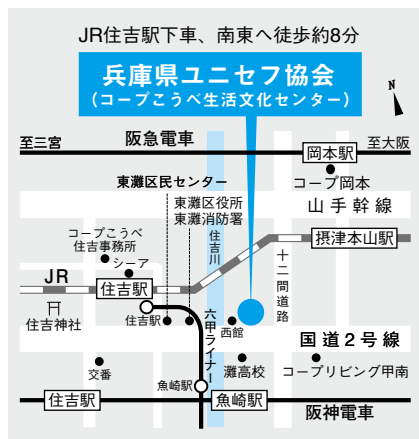
●最新の情報はホームページで

<https://office-bit.com/unicef-hyogo/>

兵庫 ユニセフ



●兵庫県ユニセフ協会への案内図



Join Us 主催イベント

各日程は変更になることがあります。
詳細はホームページをご覧ください。

参加費
無料



国際理解講座 2021

※2021国際理解講座は、(公財)兵庫県国際交流協会 民間国際交流事業から助成を受けて開催しています。

2021 国際理解講座③ 公演「すべてのいのちは たからもの」

日時 11月6日(土) 13:30-15:00
会場 兵庫県立尼崎の森中央公園
出演 早川千晶さん(マゴソスクール主宰)
大西匡哉さん(ケニア伝統太鼓
ンゴマ奏者)

アフリカ太鼓と歌と語りの野外ライブです。アフリカリズムに身をゆだね、心と体を解き放ち、皆さん一緒にアフリカを感じましょう!!

2021 国際理解講座④ 「いま、生きていく力 ——いのちがまん中」

日時 11月7日(日) 10:00-12:30
会場 コープこうべ協同学苑(三木市)
講師 大津司郎さん(アフリカジャーナリスト)
甲斐信好さん(拓殖大学副学長)
早川千晶さん(マゴソスクール主宰)

定員 会場 50人、オンライン参加あり

「いま生きていること」を3人の講師と一緒に考えてみませんか。

ユニセフセミナー「カルタで学ぼうジェンダーギャップ」

日時 10月23日(土) 13:30-15:00
会場 西宮市大学交流センター
出演 末吉洋文さん(帝塚山大学法学部教授)
定員 25人

末吉ゼミの学生さんが考案した「ジェンダーギャップを考えるカルタ」。SDGs目標5「ジェンダー平等の実現」について、遊びながら一緒に学んでみませんか。

新型コロナウイルス感染症の今後の動向により、変更・中止させていただく場合があります。参加ご希望の方は必ず事前にご確認下さい。

参加申込みはホームページ上の
申込みフォームでも受け付けています。

お問い合わせ
TEL 078-435-1605

Booth 出展参加

ふれあいの祭典 ふれあいフェスティバル in 神戸

日時 10月16日(土)、17日(日)
10:00-16:00
会場 メリケンパーク(神戸市中央区)

News お知らせ

第20回ユニセフのつどい

2022年3月、コープこうべ生活文化センターでユニセフのつどいを開催します。詳細は、HPや次号のWishでお知らせします。どうぞご予定ください。

ユニセフ出前学習会



学習会の講師派遣を行っています。
オンラインでの開催も可能です。
お気軽にお問い合わせください。



ユニセフ ひょうご サポーター

賛助会員募集中
賛助会員となって、兵庫県ユニセフ協会の活動を支援してください。お申し込み、お問い合わせは事務局までお願いいたします。